

フロントは特に何もしないでOKじゃ!



FRONT

量販店なんかでは8Jや8.5Jあたりをオススメされるかと思いますが、60ミリダウンでもフロント9Jでハンドル全切り可能です。しかもフェンダーのツメはインナーカバーに吸着するように斜めに上がっていますので、無加工で済むのもありがたいところ。なお、Fスポなどブレーキがビッグキャリパーの場合、ホイールのディスク形状はハイディスクを選んでください。



アーチトップを約620mmに設定すればOK!



モデルカーのフロントアーチ高は620ミリほど。リムとアーチの間は20ミリほどなので、ハンドルは問題なし。基本的にタイヤハウスに変な出っ張りはなく、ツメも斜めに折られているので、紹介のマッチングなら干渉はしない。

その60ミリダウンでツライチがキマるホイールサイズは、F9J・R10Jの20インチ。インセットは前後とも+32がジャスト。タイヤはF235/30・R245/30を合わせていただければ完璧です。

このマッチングの場合は、フェンダーは無加工でいけますが、リアはツメを2、3ミリ幅でカットする必要があります。10GS以降のトヨタ車は前後ともツメが処理されているのですが、10系はまだし

19系世代からそうなのですが、10系もやや不人気なのがGS。でも、乗ると本当に良いクルマなんです。特に今回の10GS350はV6エンジン搭載で速いし、NAらしくグインとナチュラルに加速して気持ちが良い。ターボこそないけど先祖の16アリストみたいに、スポーティセダンとして高い資質を備えています。今年に入ってからがエムゲインのエアロの中では10GSが一番人気ですから、これから期待したい一

台ですね。インテリアも先進的ですから、これからセダンに乗りうつる方にもオススメです。そんな風に良いクルマだからこそ、落とすには厳禁です。せっかくの高出力を生かすためにもちよとした段差でヒットするような極低はいたさない。ハンドルはしっかり切れてビシッと走れる。かつ、ノーマルGSより一段上のカッコ良いローフォルムを狙うとなると、約60ミリダウンが理想です。

エムゲイン 伊藤博志の

Low Down Guide

車種別 ローダウンガイド

今月は [10GS350]

エムゲイン
tel.082-427-2334 http://www.aimgain.net

エムゲイン 伊藤博志の 車種別ローダウンガイド



LEXUS 10GS350



ハンドル全切りOKなのでGSらしく軽快に走れます

ローダウン量

フロント・リアとも約 **60mm**

20inchツメ加工ありのホイール&タイヤサイズ (モデルカー)

F 9.0J+32・235/30-20

R 10.0J+32・245/30-20

20inchツメ加工なしのホイール&タイヤサイズ

F 9.0J+32・235/30-20

R 10.0J+38・245/30-20

ボディから段差なく、そのままホイールに繋がる美しいツライチを披露。ナチュラルキャンバーが効いているので、ストロークしても当たらずスウットとホイールは入り込む。



UNDER FLOOR

フロントからサイドにかけては、黒いカバーで覆われていて、それより突起した部分はありません。とても優秀ですね。だから60ミリダウン程度なら問題ないのですが、中間サイレンサー直後のフランジからマフラーパイプがやや飛び出ているのが多少気になるかも。万全を期すなら2~3センチほど底上げするか、底上げできる社外マフラーに変えても良いですね。

地面に当たる一ツ? いやいや10GSの腹下は優秀ですよ



中間のフランジからリアのカバーまで、割と長い間マフラーが下に落ち込んでいる。段差の程度や70ミリ、80ミリほど下げると干渉の危険が高まるので、少し気にしておいた方が良いでしょう。

ほんの少しだけツメをカットカットー!!



REAR

リアはこの10GS世代まで残っているツメを処理することが大事です。特にオススメマッチングの場合はツメカットは絶対に必要。全部でなくて良いのですが、長さで言うとアーチトップから前後に20センチずつくらい、幅でいうと2~3ミリ、内側に入っているツメをカットしましょう。ツメを切らずに残しておくと、このタイヤサイズではストローク時に引っかかるんです。インナーカバーなどは高い位置にあるので、触らなくてOKです。



リアもタイヤハウスは綺麗な作り。カバーも高い位置にあり、固定ピンも奥まっている。が、ツメは切らないとストローク時にタイヤが干渉するぞ。

アーチトップを約625mmに設定すればOK!

